

要望事項1. 電力・水素活用のためのインフラ整備の促進

1. 電力・水素の共通項目

(1) 技術開発と施設整備支援

- 高速、高出力、大容量充電・水素充てん技術開発、安全性確保、施設整備
- 移動可能な供給手段の技術開発

(2) 規格化・標準化、規制の見直し

- インフラ整備における基準、規格・規制の早期策定
- オフサイト・公道等での急速充電・充てん制度の整備・普及支援

(3) 政府主導によるロードマップの策定

- 世界動向を踏まえた技術・インフラ整備等のロードマップの作成
- 電動とともに水素、代替燃料について記述

2. 電動建機に特有な要望項目

(1) 技術開発と施設整備支援

- 技術開発・設置支援（大容量、急速、高耐久の電池、可搬式充電設備等）
- 3相大容量電源供給の普及、設置申請の簡素化
- 夜間電力及び料金での配慮、普及促進のための環境整備

(2) 規格化・標準化、規制の見直し

- 関連規制整備・見直し、保安基準明確化（急速・充電、可搬式充電設備等）
- 水素エンジン発電機（可搬式を含む）普及のための規制緩和

3. 水素活用建機に特有な要望項目

(1) 技術開発と施設整備支援

- 水素の輸送・貯蔵・使用に関する技術開発、設置支援
- 競争力のある価格の維持、安定供給の確保
- 高流量充てん能力がある水素供給設備の実現・普及

(2) 規格化・標準化、規制の見直し

- オフサイト方式の水素充てんの実現（制度整備、規制緩和）

4. 代替燃料及び関連技術に特有な要望項目

(1) 技術開発・実装に係る支援

- 代替燃料商用化に向けたロードマップの充実

(2) 具体的な課題及び対応の方向性

- ①低コストで安定的な供給確保、②定義、品質の確保、
- ③国際的ルール、基準との整合性確保、④自動車業界との整合性確保

* 各要望事項における規格化・標準化、規制の見直しの際には国際的整合性の視点が不可欠である。

要望事項2. 建設機械本体及び部品の製造・活用に関する支援

1. 電力・水素の共通項目

(1) 技術開発と施設整備支援、産官学の協力推進

- 政府主導の研究開発の継続、拡大
- 企業の研究開発、実装に対する支援
- GX建機の認定・指定のための簡素・迅速なプロセスの実現

(2) 規格化・標準化、規制の見直し

- ディーゼルエンジン前提の現行制度の見直し（排ガス、騒音、振動、安全、認定制度、リサイクル等）
- 国際競争力の観点重視、海外規格・規制とのハーモナイゼーション

2. 電動建機に特有な要望項目

(1) 技術開発と施設整備への支援

- 導入加速のための技術開発・実装に関する支援
- コンポーネント及び素材メーカーへの支援

(2) 規格化・標準化、規制の見直し

- 電池容量・サイズ、部品の規格化・標準化
- 充電方式、接続プラグ、充電時の規制・規格・標準の策定
- 低騒音型・低振動型建設機械の制度の見直し

3. 水素活用建機に特有な要望項目

(1) 技術開発と施設整備への支援

- 導入加速のための技術開発・実装に関する支援
- コンポーネント及び素材メーカーへの支援

(2) 規格化・標準化、規制の見直し

- 燃料電池、水素エンジンの規格・標準の策定及び制度化
- 水素充てん設備と機械の接続プラグの標準化
- 水素利用建機に必要な各種法制度・基準等の見直し

4. 代替燃料及び関連技術に特有な要望項目（要望事項1の4.参照）

5. 建設機械生産・製造におけるカーボンニュートラルの支援

(1) 製造時におけるCO2削減のための支援強化

(2) 太陽光発電装置の設置に関する支援措置導入、規制の見直し

- ペロブスカイト太陽電池に関する制度整備、支援措置の充実

要望事項3. 建機ユーザへの支援

1. 補助金、税制、低利融資等の政策的支援の充実

(1) 導入時のコストへの支援

- 建機本体への思い切った補助金や低利融資、税制上の支援
- 大容量電源設置に対する支援、GX建機導入補助金制度の継続及び拡充
- 国際的な枠組みとの整合性確保

(2) ランニングコストへの支援

- CO2削減量に応じた補助、税制優遇、評価ポイント付与
- 完成車、補修用部品に対する支援
- 軽油燃料との差額に対する補助の実施

(3) 中古建機の流通、電池リサイクル等促進のための支援

- 電池のリサイクル、リユース等を促進する制度整備
- 中古建機の海外での流通を促進するための支援

(4) 税制上の支援

- 中小企業税制（経営強化税制、投資促進税制）の延長・拡充
- その他特別税制への適用（カーボンニュートラル投資促進税制等）
- 償却年数の短縮・統一、即時償却制度の整備
- 設置電源への税制支援（固定資産税優遇、減価償却期間の短縮）

2. 整備士・整備工場の制度整備、人材育成支援

(1) EV自動車整備士や現行建機整備士との連携、制度設計、人材確保・育成

- 資格の明確化、資格取得の補助金制度
- 低電圧資格者の取電圧範囲の拡大、国際的考慮、建機整備士資格への導入
- 高電圧や高圧力を扱う作業員についての安全教育

要望事項4. 国内外の需要創造、全体論

【主として国内対応】

1. 国内での普及促進策の実施・拡充

(1) GX建機認定制度の改善と拡充、簡素かつ迅速な認定

- 対象機種、技術拡大（水素、代替燃料対象化）、予算増額
- 簡素かつ迅速な手続き及び審査実施、国際的制度・基準とのハーモナイズ

(2) 公共工事入札における有利な取扱い

- 工事単価の見直し等インセンティブの導入
- CO2削減量、GX建機保有・活用実績による評価、発注要件化、モデル事業実施
- 民間工事における類似した制度の導入

(3) 土木インフラ分野における具体的ロードマップの策定

2. 関連分野との連携、支援拡充

(1) 他技術との連携強化によるCNの実現促進

- i-Constructionの推進（自動化、自律化、遠隔化技術活用による作業効率化）

(2) 電力、鉄鋼等におけるCO2削減努力への支援

(3) 政府資金（GX公債）及び民間金融・投資の拡大

【主として海外・国際対応】

1. 国際的規制、基準認証、規格への対応

(1) 規制、規格・標準に関する国際的ハーモナイゼーションの推進

- 電動建機、水素燃料の製造、輸送、活用等各方面における対応

(2) 補助金等のインセンティブ付与における国際的協調

(3) 国内産建機が不利に扱われないよう政府間交渉の実施

- 外国政府・機関による規制・規則導入に対する政府レベルでの対応

2. 海外への展開支援

(1) ケープタウン条約・MAC議定書に関する検討の推進

- 政府による情報収集と業界への迅速な共有
- 国際競争力維持・強化を見据えた対処方針策定

(2) ODA・公的ファイナンスによる支援の実施・拡充

- 海外でのインフラ整備支援、GX供与支援等

(3) インフラシステム海外展開戦略への建機・土木分野の追加

- 建設機械・土木分野を追加し、具体策を検討